



朝風

平成30年度
学校報9月号②
大仙市立
大曲南中学校



勉学の秋

各学年とも、夏休み中の勉強の頑張りを検証する機会（簡単に言うとテスト）をもちました。少し気になったのが自由な時間が多くなったはずの3年生。休み前と比べると弱点克服どころか大幅に…でした。昨年の3年生にも同様の傾向が見られ、秋に奮起を促した記憶があります。「自分で考え、それをきちんと実行する力」は、南中生の課題のひとつかもしれません。



平成30年度 大曲仙北英語 暗唱弁論大会

*左端はミサ先生

【暗唱の部】“the special mention” 伊藤さん
I'll Always Love You (ずっとずっと大好きだよ)

【弁論の部】“the special mention” 戸島さん
What My Great-Grandmother Told Me
(ひいおばあちゃんが教えてくれたこと)

おジャマします。授業拝見！

数学：齋藤 明先生・佐々木 嘯英先生



仙北出張所の小田長早苗指導主事をお招きして、2年生の数学の校内授業研究会を行いました。学習課題は「1次関数のグラフは、どんな工夫をすれば手際よくかくことができるのか」でした。生徒はまず自分でかき方を工夫し、その手法を他の生徒に説明します。次に「手際よさ」という視点で、いくつかのかき方について討論をしていきました。

昨年度のESDの研究会の際も、「比例、反比例」の授業を行った魁翔学年ですが、説明や話し合いのスキルが大きく伸びていると感じました。小田長指導主事からは「去年の学びを活用して、学習に取り組んでいる。ITの先生方は、授業中に見取ったことを頻りに打ち合せて、適切に授業の軌道修正をしていた。」とのお話がありました。



おジャマします。授業拝見！

特別活動：佐々木 嘯英先生



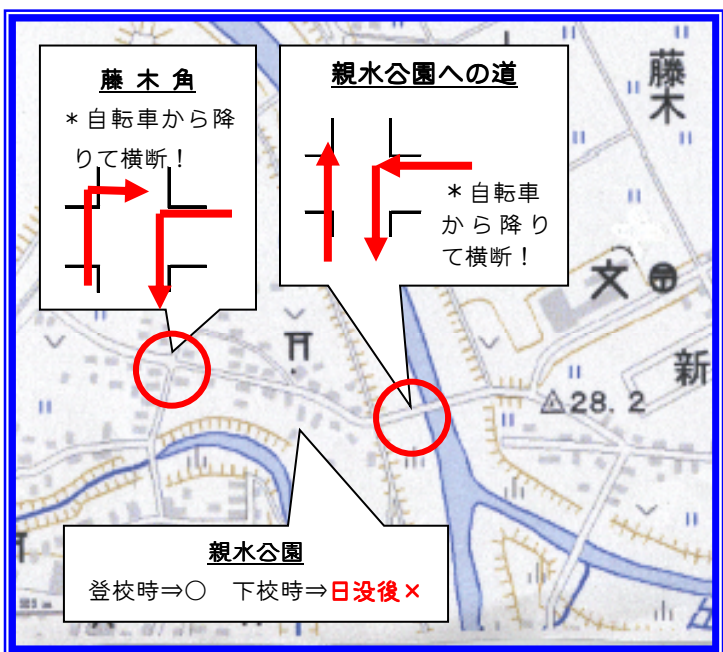
特別活動では、新学習指導要領による指導内容で指導を行っています。ポイントは「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」です。佐々木先生は、この中の「社会参画」に焦点を当てる学級活動の授業を行いました。新しい内容の提案授業ということで、来校した雄勝出張所の住吉聡子指導主事も大注目でした。生徒は、避難所についての学級アンケートの「学校が避難所になった際の自分たちの役割を考えよう」を確認します。そして、役割を考える→グループで意見交流→役割を果たす際の心構えを考える！という流れです。

住吉指導主事からは、授業中の「聞く」「話す」という基本的なスキルや学習規律が素晴らしいこと、また、生徒が「私たちは中学生だから…」と、立場をしっかりと意識して話し合い活動をしている、まさに社会参画につながるものだという評価をいただきました。



秋も交通安全 危険は隣に！

中学生の自転車事故の原因の多くが一時不停止です。



「自立」「対話」「貢献」

広い視野をもち 互いを認め合い 地域から行動する生徒の育成

今年も南中生が、選手として、スタッフとして地域の伝統行事「地区民大運動会」の活性化に大きく貢献いたしました。



走る前、「しゃーっ」と気合は十分



シューズが脱げて
も走りきりました



藤木独自の競技



用具係



「重いつす!」



竹馬の友



「先輩! こっちの方が重いつす」



角間川独自の競技



やや腰を引いて綱を引く



戴冠

お疲れさまでした